

Profile

Meet Me at Art

アートエデュケーター 藤吉有里 (ふじよしゆり)

<略歴>

- 1969年 東京生まれ。
- 1988年 長崎県立諫早高等学校卒業。
- 1992年 山口大学経済学部経営学科卒業。組織管理論専攻。
- 1992年 株式会社人事測定研究所（現・リクルートマネジメントソリューションズ）入社。
- 1997年 磁器作家の夫と花祭窯開業。
- 2013年 佛教大学博物館学芸員資格課程修了（学士）。
- 2016年 学芸員技術研修会（文化庁「ふくおか博物館人材育成事業」）受講（～2019年）。
- 2018年 Meet Me at Art プロジェクトスタート。

<職務経歴>

- 1992-1996年 法人営業職。大阪・福岡にて経営者への人事コンサルティング。採用指標・社員教育・人事評価制度構築など。新人研修・管理職研修はじめ階層別研修トレーナー。
- 1997年-現在 花祭窯（個人事業）の開業準備期間から現在まで、ディレクション・マネジメント・ウェブ・海外対応等「ものづくり以外全般」担当。伝統工芸・アートの現場に20年以上従事中。
- 2018年-現在 「Meet Me at Art（アートを通じて自分に会おう）」をテーマに美術・芸術をもっと日常や人生に生かすための活動をスタート。

<経緯>

磁器作家の夫との結婚を機に「工芸・アート」業界へ。「作家ではないけれど当事者」の立場に関わるなかで、「好きなものを選ぶことができない人＝美意識に自信の無い人・自身の価値観を持たない人（日本人）」が多いことに気づく。アート業界に携わる人でさえも既存の評価に依存し、自分の目でアート・美術を楽しむ（評価する）ことができないことに疑問を持つ。日本での「生活と美術との乖離」が根底にあると感じ、この状況を少しでも変えて行きたいと強く思う。

美術を支える在り方を体系的に学ぶべく、佛教大学編入学、博物館学芸員資格課程修了。資格取得後も継続的に学芸員技術研修に参加。地域における美術館・博物館の使命と教育普及を学ぶなかで、「対話型鑑賞法」を知る。元宮城県美術館教育普及学芸員・齋正弘先生の理論と「自分の内側をのぞき込む」手法の実践に感銘を受ける。2015、2017年ロンドンにミュージアム視察旅行。日常的な鑑賞環境・習慣にこそ、問題解決の道があると確信。

<ひとこと>

描かない、作らない、だけど美術。鑑賞こそが、美術の肝です。すべての美術的活動・思考の基盤を培うと同時に、美術の外でも通用する「見る目」を養うと信じています。美術はもっと「あたりまえ」になっていい。好きな音楽を聴くように、好きな絵を観る。日常に美術の習慣があると、生活の質はもっと上がります。